

自前のパンフレットで政策を説明  
する村上行政・規制改革担当相  
＝2日、今治市内



村上行政相が初の帰県

支援者に抱負語る

村上誠一郎行政・規制改革担当相は衆院愛媛2区、越智郡宮窪町に1日、就任後初めて帰県。翌2日には越智・今治地区の後援会拠点となっている今治市内で支援者らに入閣の抱負を語った。村上氏は一日夕、愛媛

入り。二日午前、台風21号で被災した新居浜、西条両市を視察した後、今治市へ。同市内のホテルであった「大臣を囲む会」で、支援者らを前に「一族の中で一番出来の悪い私が五十二歳で大臣になれたのも皆さんのおかげ

げ」とあいさつ。目を潤ませ深々と頭を下げた。

「真の構造改革は財政、経済、教育」と持論を述べ、行政・規制改革担当相の仕事は「全庁にまたがる問題を交通整理する。木で言えば、すべての枝葉を処理していくようなもの」と説明。「今まで培った人脈で地元のため、日本全体のために頑張りたい」と抱負を述べた。